

### (3) 「震源を予め特定しにくい地震等」の評価(グループ1～5の地震)

#### a. 主要 98 活断層帯以外の活断層に発生する地震(グループ1の地震)

「震源を予め特定しにくい地震等の評価手法について(中間報告)」(地震調査委員会長期評価部会, 2002)を基本とする。基本的には個々の活断層の全区間が同時に活動すると考える。

損害保険料率算定会(2000)の地震危険度評価で用いられた 113 の主要活断層のうち 98 活断層帯に対応しない 11 断層と、その他の 145 の活断層のうち 98 活断層帯に含まれる 31 断層を除いた 114 断層を合わせた 125 断層をモデル化対象とする。表 38 に北日本地域に関連するところの一覧を示す。

主要 98 活断層帯以外の活断層に発生する地震(グループ1の地震)に対応する 125 活断層の中で試作地域周辺の活断層を図 37 に示す。活断層の抽出範囲は、東経 138 度以東かつ北緯 36 度以北の領域としている。この範囲に含まれる活断層は全部で 31 である。31 活断層の地震発生確率とマグニチュードを暫定評価の活断層(損害保険料率算定会, 2000)の値で代用する。

地震発生確率は、活動履歴が明らかな場合は活動間隔が対数正規分布に従う更新過程でモデル化し、活動履歴が不明な場合にはポアソン過程でモデル化している。地震のマグニチュードは基本的には断層長さから松田式(松田 1975)でマグニチュードを定めている。基本的には 1 断層面もしくは複数の鉛直の矩形面である。なお、98 の主要活断層帯のモデル化方針を踏襲して、断層の幅は一律 15km とするが断層長さが 15km 未満の場合には断層長と等しく設定する。また、断層上端深さに関しては一律 3km と設定する。

なお、信濃川断層帯(北)については、重力性の正断層の部分を除いた青倉断層、宮野原断層、平滝断層、伏野峠断層について長さ 16km でモデル化した。

また、これらの活断層は最近公表された活断層のカタログとして、松田・他(2000)による起震断層のカタログがあるため、今後、新しい知見を取り入れていくことを検討していく必要がある。

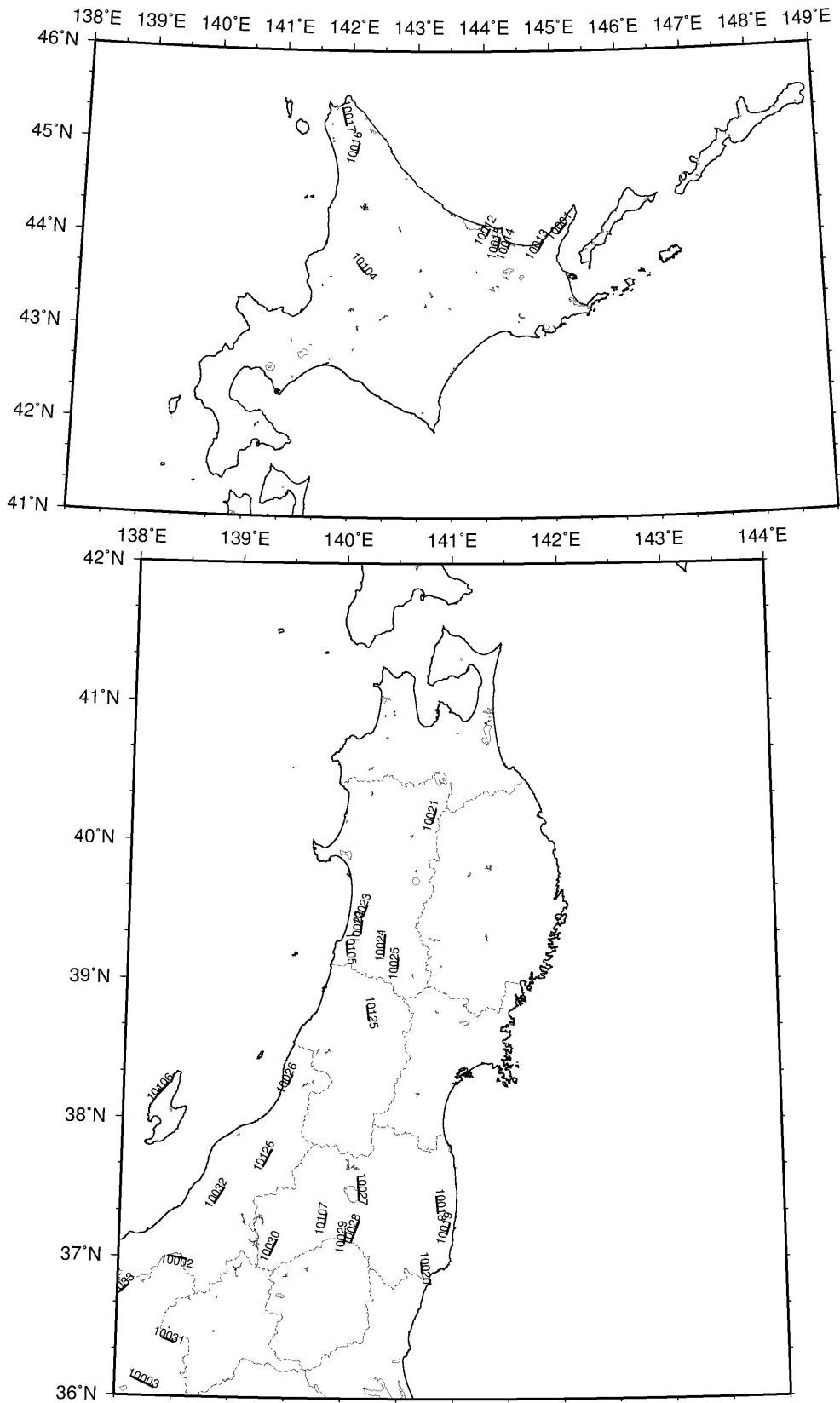


図 37 北日本の確率論的地震動予測地図（試作版）の作成に用いるグループ 1 の地震に対応する活断層

表38 震源を予め特定しにくい地震等のうち  
グループ1の地震に対応する活断層

- (注)・対象は料率算定会の主要活断層のうち98主要活断層帯に該当しない11断層と、料率算定会の  
その他の活断層のうち98主要活断層帯に含まれるものを除いた114断層の合計125断層
- ・ は北日本の確率論的地震動予測地図の作成に用いる活断層(31断層)
  - ・ No.は98の主要活断層帯の番号との混同を避けるため10001よりの昇順で付した

No.	算定会 No.	断層名
10001	101	羅臼岳断層帯
10002	144	信濃川断層帯 - (北)
10003	148	霧ヶ峰断層帯
10004	152	中央構造線赤石西断層帯
10005	153	平岡断層
10006	191	養父断層帯
10007	194	奈良盆地西断層群
10008	195	大和川断層帯
10009	207	警固断層(日)
10010	208	小倉東断層(日)
10011	210	緑川断層帯
10012	301	常呂川東岸断層
10013	302	峰浜断層群
10014	304	濤沸湖 - 丸万川断層
10015	305	網走湖東方断層群
10016	306	問寒別東方断層
10017	307	幌延断層
10018	310	三郡森付近
10019	311	大阪 - 足沢断層
10020	312	井戸沢断層
10021	313	花輪東断層帯
10022	314	鳥田目断層
10023	421	中帳断層
10024	316	極楽寺 - 七曲峠断層
10025	317	東鳥海山断層
10026	318	虚空蔵山東方断層
10027	320	川桁山断層
10028	321	江花 - 虫笠断層帯
10029	322	那須湯本北断層
10030	324	桧枝岐西断層

No.	算定会 No.	断層名
10031	325	浅間西断層群
10032	326	悠久山断層
10033	329	戸隠山断層
10034	331	越生断層
10035	332	鶴川断層
10036	333	扇山断層
10037	334	長者舎断層
10038	335	道志川断層
10039	336	大菩薩嶺西側断層
10040	337	曾根丘陵断層帯
10041	338	達磨山断層群
10042	339	徳島平原南縁断層帯
10043	340	鮎喰川断層
10044	341	綱付森断層
10045	342	畑薙山断層
10046	343	常念岳断層
10047	344	早乙女岳断層
10048	351	下伊那竜東断層
10049	352	神坂神社断層
10050	353	若栃断層
10051	354	白巣峠断層
10052	358	赤河断層
10053	359	華立断層
10054	360	新野断層
10055	361	鈴ヶ沢断層
10056	362	城端 - 上梨断層
10057	363	鳩ヶ湯断層
10058	364	更毛断層
10059	365	宝泉寺断層群
10060	366	谷汲断層

\*信濃川断層帯 - (北)は青倉断層、宮野原断層、平滝断層、伏野峠断層についてモデル化した(長さ16km)。

No.	算定会 No.	断層名
10061	367	宝慶寺断層
10062	368	池田山断層
10063	369	金草岳断層群
10064	370	奥川並断層
10065	373	養老西縁断層帯
10066	374	今須断層
10067	375	鈴鹿坂下断層
10068	376	大鳥居断層
10069	377	信楽断層帯
10070	378	名張断層帯
10071	379	家城断層
10072	380	多気断層
10073	381	耳川断層帯
10074	383	和束谷断層
10075	384	五月山断層
10076	385	十万辻断層
10077	386	高塚山断層
10078	387	羽曳野断層帯
10079	388	神於山 - 内畑断層帯
10080	389	千股断層
10081	390	先山断層
10082	391	江畑断層帯
10083	392	黒菱山断層帯
10084	393	猫又山断層
10085	394	能登海岸断層群
10086	396	高松断層帯
10087	399	上林川断層
10088	400	下野条 - 一宮断層
10089	402	雨滝 - 釜戸断層
10090	403	岩坪断層
10091	404	引原断層
10092	406	穴道断層帯
10093	407	庄原断層

No.	算定会 No.	断層名
10094	408	福山断層
10095	409	鞆断層
10096	410	三次断層帯
10097	411	船木断層
10098	412	上根断層
10099	413	洪水断層
10100	414	福智山断層
10101	415	佐賀関断層
10102	417	長島西断層
10103	418	鹿児島湾東縁断層帯
10104	420	吉住付近
10105	422	釜ヶ台断層ほか
10106	425	小田断層ほか
10107	426	大内 - 倉村断層
10108	427	高倉 - 赤沢ほか
10109	428	加木屋断層
10110	429	平井撓曲ほか
10111	430	島戸断層ほか
10112	431	経ヶ峯南
10113	433	埴生断層ほか
10114	434	鈴鹿沖断層
(欠番)		(白子 - 野間断層)
10116	436	南岸湖底断層
10117	438	明延北方
10118	439	福田新田 - 作畑
10119	441	安田断層
10120	442	行当岬断層
10121	443	安芸灘断層群
10122	444	波野断層ほか
10123	349	風越山断層
10124	350	下伊那竜西断層帯
10125	435	鮭川断層ほか
10126	323	沼越峠断層

\* 白子 - 野間断層は98の主要活断層帯に含めた。  
風越山断層、下伊那竜西断層帯、鮭川断層ほか、  
沼越峠断層、は昨年98主要活断層帯に含めて  
いたが、長期評価の結果、グループ1地震の  
対象とした。